



・・・小学校就学・・・ ～保育園とのギャップ～



先月のコラムで『子どもも親も自立に向けて…』と小学校への準備についてお伝えしたところです。今回は今年度、私の息子が小学校へ入学し、10ヶ月で感じたことを記載します。よろしければ参考にしてください。

・毎日、プリントプリントプリント…

園では【おたより】類はアプリで配信されていますが、小学校はアプリ＋紙面配布も多いです。すると「何がどこに書いてあったっけ…？」と、わからなくなってしまいます。また連絡帳も持ち物のアナウンスではなく、子どもがほぼ宿題のみ記入して帰ってくるため、忘れ物がないか？とひやひやします。

そこで…ご家庭でも、毎日の持ち物を子どもと一緒に準備・確認する習慣をつけるといいですね。また、忘れ物をしてしまった時の対処法も伝えておくといいです。
⇒助けてもらうのを待つ、のではなく、自分で先生に言う。
忘れないために、どうするのかを考える機会も作ってみてください。
また…自分から情報を取りにいく習慣をつけましょう。（親も子どもも）
たとえば、園だよりは事務所にファイリングしてありますので、必要に応じて読むことを意識してみてもいいですね。

・毎日どんな様子…？ 授業をちゃんと聞いているかしら？

保育園では活動報告や送迎時に園内の掲示板チェック、職員と話すことで何となく様子が見えていましたが、そもそも親は小学校に出向くことがほとんどありません。授業の様子は、年に数回ある公開授業で様子は分かりましたが、日々の出来事や友達関係などの把握は子どもとの会話でしか伝わってこないことが多いです。

そこで…どんな出来事があったのか、ご家庭でも意識して話してみてください。
具体的に、前向きな明るい質問をするのがいいです。
⇒「どんな活動（授業）が好きなの？」
「給食はどれくらい食べた？何が美味しかった？」
「先生はどんなお話をしてたの？」など、いわゆる5W1Hのように会話していると何となく、相手にもわかるような話し方が出来るようになるかもしれませんね。

・子どもを信じる・任せる

前述のように保育園生活は親が送迎するので、特に小さい頃は状況を細かく把握したり、一心同体のように何でも知っているのが当然でした。しかし成長と共に知らないことや、後からも聞くことも多くなってきます。特に小学校へ上がると顕著です。

そこで…知らないことを受け止め、子どもを信じる・任せる
もちろん「困った時はいつでも味方になるし、助けてあげる」ということを伝える

子どもの成長はあっという間！親子共に小学校へ向けて楽しく習慣づけしてみてください。（矢野）